



杉並区

本日、ジャズストリート開幕

28. 10. 21
杉並区広報課

ジャズを聴きながら買い物も

10月21日正午、七夕まつりとともに阿佐谷になくなくてはならないイベントとなった「阿佐谷ジャズストリート」が開幕しました。このイベントでは、今日と明日の2日間に渡り、世界的ジャズピアニストの山下洋輔さんや故大橋巨泉さんの娘の大橋美加さん、豊田チカさんなどが登場し、多くの来場者がまちに訪れます。毎年、その来場者から人気なのが、交流自治体「北海道名寄市」の特産品販売会です。販売会は、ジャズ演奏会場の区役所前広場で行われるため、ジャズを聴いた後は、北海道の特産品の買い物も楽しめます。

阿佐谷ジャズストリートは、1995年に「阿佐谷のまちをジャズで明るく楽しいまちに」という合言葉でスタートしました。20年以上の歴史を重ねてきました。年々、参加するアーティストも増え、最初は13か所だった演奏会場も、今年は68箇所と過去最大になり、多くの来場者を見込んでいます。

まちを包むジャズイベントに欠かせない存在になっているのが、杉並区交流自治体の北海道名寄市です。毎年、このジャズフェスティバルの会場の一角で、特産品のジャガイモやカボチャ、もち米、そして特産品のトマトジュースなどを販売していて、ジャズを聴いて買い物することを楽しみにしているリピーターもいます。特に、トマトに何も加えていない100%果汁ジュース「トペンペ」は、アイヌ語で「甘いもの」というだけあって甘さは抜群、最も人気の商品です。

しかし、ジャズストリートと名寄市の関係は、この販売ブースの出店だけではありません。明日22日(土)午後2時に、阿佐ヶ谷駅南口噴水前特設ステージに登場する『加藤MAA GROUP』のメンバーには、名寄市出身者が含まれています。それは、リーダーでボーカル・ギターの加藤MAAさんとピアニストとして活躍している本田富士旺さんです。加藤MAAさんは、なんと現在の名寄市の加藤剛士市長の実兄で、ブルースシンガーとして活躍しています。



名寄市の特産品の販売は、明日午前10時から午後4時までです。この秋に収穫したばかりの新ジャガイモだけでも、男爵や月あかり、レッドムーンなどがあり、味や食感の食べ比べもできます。一番人気のトペンペは、試飲も行っていきますので、ジャズの鑑賞と秋の味覚の2つを楽しみに、ぜひ阿佐ヶ谷にお越しください。

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課： 電話3312-2111 内線3785